



海東スクラム



海東小学校学校便り

令和8年5月8日

文責：校長 松出 直子

運動会スローガン決まりました！

4月30日(木)に、本校の伝統的な児童会活動である「みんなミンタイム」が行われました。みんなミンタイムとは、「みんなでミーティング」の意味で、学校生活をより良くするために、全校児童で考え、話し合い、実践していく会議です。

今年度第1回目となる今回は、「今年の運動会のテーマを決めよう」を議題に行われました。児童会の6年生が司会を務め、各学年で和やかな雰囲気の中、「どんな運動会にしたいか」を積極的に話し合いました。それぞれの考えを出し合い、メモを取りながら、発表の準備まで協力して進める姿が見られました。その後、6年生の進行のもと、各学年から出たキーワードをまとめ、みんなの思いが込められた運動会のテーマが決定しました。

今年のテーマは

「笑顔のみんなを信頼し、最後まであきらめないで、楽しい思い出になる運動会」

みんなミンタイムでは、海東小学校の子どもたちの「いつも考え工夫する力」「ともだちとかかわる力」「うまく表現する力」が発揮されていました。また、会を進行した児童会の6年生の姿も大変立派でした。みんなの思いが詰まったこのテーマを目標に、これからの運動会の練習や本番がとても楽しみです。



学年会議



みんなで会議（6年生のリーダー活躍）

海東っ子のすてきな伝統

日々の学校生活の中で、海東っ子の宝である「すてきな伝統」を改めて感じ、心が温かくなっています。

まず、毎日目にするくつ箱の様子です。

いつ見ても、靴のかかところがきれいにそろっています。

また、トイレのスリッパも、常に整えられています。これは一見当たり前のことのように思えますが、実はなかなかできることではありません。

「履物がそろうと心がそろう」と言われるように、次の人への思いやりの心が感じられます。

こうした日々の小さな積み重ねから、海東っ子の優しさや落ち着いた心の状態が伝わってきます。ご家庭での声かけや、担任の先生方のご指導の積み重ねが、このようなよい習慣として根付いているのだと感じています。

くつ箱やトイレを通るたびに、さわやかな気持ちになります。

海東っ子のみなさん、いつもありがとう。



くつ箱（いつもそろっています）



トイレのスリッパ（相手意識）